



芦屋「九条の会」ニュース

発行責任者：片岡 隆
連絡先 090-7118-2312

平和を願う草の根の力を信じて

新しい米軍の新基地を作るために資材を運び込もうとしているトラックの前に、スクラムを組んで阻止しようとする人々。非暴力であるから、手は肩より上に挙げない。それを一人に数人掛りで排除しようとする警官たち。「もともとここは私らの土地だ」と叫ぶ声……。そして海。沖合いに何艘もの海上保安庁の船、ゴムボートに鉤のついた長い棒を手にした海保の船員たちが、カヌーに乗ってアピールする若者たちや地元の人たちを力づくで拘束する。これが毎日、沖縄県名護市辺野古の陸と海で繰り返されている光景。出来上がれば日本の防衛をはるかに超える機能と規模を持つ軍事基地です。県民の抵抗の様子はメディアは伝えないから私たちの多くはほとんどそれを知らない、同じ日本の一部なのに。「9条」を持っている日本の現実です。

「9条」による外交が最大の安全保障

今年には敗戦から70年、戦争を経験しない世代が大多数になったこの国で、果たして私たちは独立しているのだろうかと自らを問う1年を迎えようとしています。この1年、特定秘密保護法の強行採決、集団的自衛権の行使容認の閣議決定、日米合同軍事訓練の強化、5兆円近い過去最大の軍事予算など米国と一体化した軍備強化に拍車が掛かりました。これがアジアに緊張を産まないとは誰が言えるのでしょうか。「9条」を持つ日本だけができる外交を進めることが最大の安全保障になると私たちは考えます。

世界は動いています。日本の憲法9条も注目されています。

「9条」を保持している日本国民がノーベル平和賞にノミネートされたこともそのひとつでしょう。残念ながら受賞には至りませんでした。が、「9条」はやはり人々に希望を与える

かけがえの無い宝です。アメリカが半世紀以上に亘るキューバとの国交断絶に終止符を打って国交回復も近いというのも新しい動きです。戦争をしたい勢力が巨大である一方、平和を願う草の根の力を信じて共に行動していきましょう。



署名ありがとうございました

「集団的自衛権行使は平和憲法の破壊。憲法9条を守り生かす」旨の署名の第一次集約分として、261筆を東京の「九条の会」に昨年末に送付しました。お一人で20筆近く集めた方もおられました。みなさん、ご協力有難うございました。第二次集約は5月です。重要な局面を考えると、私たちがお願いする1筆1筆の署名が大きな力になります。未だの方は、ご協力よろしくをお願いします。(事務局)